
国際学会報告

世界微生物株保存会議 ICC14 参加報告

世界微生物株保存会議 (International Congress on Culture Collections, ICC) は、1968年に第1回会議を東京で開催して以来、第14回目の大会を2017年7月17–21日、シンガポールで開催した。本会議は当初は4年ごとであったが、2004年に第10回大会をつくばで開催した後、第11回会議をドイツの Goslar で2007年に開催し、その後は3年ごとに開催してきた。2013年の第13回大会が中国北京で開催され、その次は2016年にトルコのアンタレアで開催する予定であったが、トルコ国内の治安の問題から開催延期となり、その後の見込みも立たないことから、トルコでの開催を断念し、1年遅れでシンガポールでの開催となった。シンガポールでは国際微生物学会連合 (International Union of Microbiological Societies, IUMS) 主催の国際微生物学会議と同時開催となった。といっても、ICC は IUMS に相乗りさせてもらい、何とか会場を確保して開催にこぎ着けたという、綱渡りのなものであった。尚、ICC の主催者である世界微生物株保存連盟 (World Federation for Culture Collections, WFCC) はもともと IUMS と国際生物学学会連盟 (International Union of Biological Society, IUBS) の下部機関としての federation なので、組織的に無関係ではない。しかし、今回の ICC では会議開催やプログラムのアナウンスメントが大幅に遅れ、結果的に参加者数を大幅に減らしてしまったと思われる。

さて、実際に開催してみると、カルチャーコレクション事業を中心にセッションを設けた ICC にとって、多くのユーザーが集まる IUMS との同時開催は大変意義のある大会であった。IUMS では応用微生物学、系統分類学の興味深いセッションが数多く開催されていた。通常では ICC には参加しない微生物学者にカルチャーコレクショ

表1 ICC14 のセッション

Keynote I: World Data Centre for Microorganisms: an information infrastructure to explore and utilize preserved microbial strains worldwide Juncai Ma, WFCC-WDCM, China
Keynote II: Role and Position of Collections in Biotechnology Lily Eurwilaichitr, BIOTEC, Thailand
Keynote III: NAGOYA PROTOCOL in Microbiology Proactive solutions set up by the culture collections community: MOSAICC, TRUST & NIEMA Philippe Desmeth, BCCM, Belgium Outline of the ABS Guideline of Japan Rie Funabiki, NBRC, NITE, Japan
Keynote IV: Skerman Award Lecture Studies on the isolation and taxonomy of non-filamentous actinobacteria Moriyuki Hamada, NBRC, NITE, Japan
Session 1: MEDICALLY IMPORTANT CULTURE COLLECTIONS
Session 2: DATABASES
Session 3: QUALITY MANAGEMENT
Session 4: FUNGAL GENETICS
Session 5: BUDAPEST TREATY
Session 6: CULTURE COLLECTIONS OF THE EMERGING WORLD
Session 7: LATIN AMERICA COLLECTIONS
Session 8: BIOSECURITY
Sessions 9 & 10: BIOSECURITY WORKSHOP
Session 11: SPECIALIZED CULTURE COLLECTIONS FOR INDUSTRY & BIOTECHNOLOGY
Session 12: ROLE OF SPECIALIZED CULTURE COLLECTIONS IN FUTURE BIODISCOVERIES

ンの活動を知ってもらおう機会としてよかったのではないかと思います。IUMS 全体の参加者は約 1,500 名、そのうち ICC14 としては約 400 名と発表された。ICC14 では 4 つの基調講演と 12 のセッションが開かれた。そのタイトルを表 1 に示す。著者は今まで原則として両方の会議に参加していたが、2 つの大会で関心のある演題が倍増した印象があったが、反面、別々にプログラムが作られたため、興味深いセッションがいくつも同時に開催され、残念であった点も否めない。

最大のトピックスの一つは、ICC に合わせて公募し、選考する WFCC Skerman 賞を NBRC の浜田盛之博士が受賞したことである。この賞はオーストラリアの著名な細菌学者 V.B.D. Skerman 博士を記念して設けられた微生物分類学において顕著な業績を挙げた 40 歳未満の研究者に贈られる賞で、日本人の受賞は浜田博士が初めてである。今までにベルギーゲント大学の Peter Vandamme 教授をはじめ、受賞者はその後世界の微生物分類学を牽引している。浜田博士は受賞の核となったアクチノバクテリアの分離、分類に関する研究（浜田博士の本誌への寄稿参照）を中心に、コレクションの充実、アジアとの共同研究を通じた人材育成など、まさに WFCC の活動の模範ともいえる実績が評価された。今後の活躍が期待される。

ICC では WFCC の役員の変更が行われる。事前に会長、副会長、理事の選挙が行われ、理事は上位 7 名が当選とし、残りの定員は分野、地域を考慮して新理事会で決定される。その結果、表 2 のような陣容でこれから 3 年の役員が整った。日本からは鈴木が副会長、伊藤が理事として参加していたが、伊藤は任期満了で退き、鈴木は理事として選出され、次期にも残ることとなった。新しい体制では、ヨーロッパの主要なコレクションからの参

表 2 WFCC 役員一覧（任期 2017-2020）

担当	氏名	所属
会長 (兼ニュースレター編集長)	Ipek Kurtböke	University of the Sunshine Coast, Maroochydore DC, Queensland 4558, Australia
副会長	Kevin McCluskey	Fungal Genetics Stock Center, Kansas State University Manhattan, KS, USA
理事 (会計担当)	Marizeth Groenewald	Westerdijk Fungal Biodiversity Institute Uppsalalaan 8, 3584 CT Utrecht, Netherlands
	Andrey Yurkov	Leibniz-Institut DSMZ-Deutsche Sammlung von Mikroorganismen und Zellkulturen GmbH, Braunschweig, Germany
	Kyria Boundy-Mills	Phaff Yeast Culture Collection, University of California Davis Davis, CA, USA
	Manuela da Silva	Fundação Oswaldo Cruz (Fiocruz) Vice-Presidency of Research and Biological Collections, Rio de Janeiro, Brazil
	Lily Eurwilaichitr	Thailand Bioresource Research Center (TBRC), BIOTEC Pathum Thani, Thailand
	Shuang-Jiang Liu	Institute of Microbiology, Chinese Academy of Sciences Beijing, China
	Anabela Martins	Micoteca da Universidade do Minho, Universidade do Minho Braga, Portugal
	G.S. Prasad	Microbial Type Culture Collection and Gene Bank (MTCC), CSIR-Institute of Microbial Technology, Chandigarh, India
	Cledir Santos	Chilean Culture Collection of Type Strains CCCT/UFRO, Universidad de la Frontera, Temuco, 4811-230 Chile
	Ken-ichiro Suzuki	Dept. Fermentation Science, Tokyo University of Agriculture Setagaya-ku, Tokyo, Japan
職責 (WDCM)	Juncai Ma	Information Network Center, Institute of Microbiology Chinese Academy of Sciences, Beijing, China
職責 (前会長)	Philippe Desmeth	Belgian Coordinated Collections of Microorganisms - BCCM c/o Belgian Science Policy Office, Brussels, Belgium
事務局	Anne Depauw	Belgian Coordinated Collections of Microorganisms - BCCM c/o Belgian Science Policy Office, Brussels, Belgium

詳細は WFCC website (<http://www.wfcc.info/board/>)



写真1 旧役員の集合写真

前列向かって右から2人目が新会長の Dr. Ipek Kurtboke, 3人目が前会長の Dr. Philippe Desmeth. 著者は鈴木（前列左端）、伊藤（後列右端）.

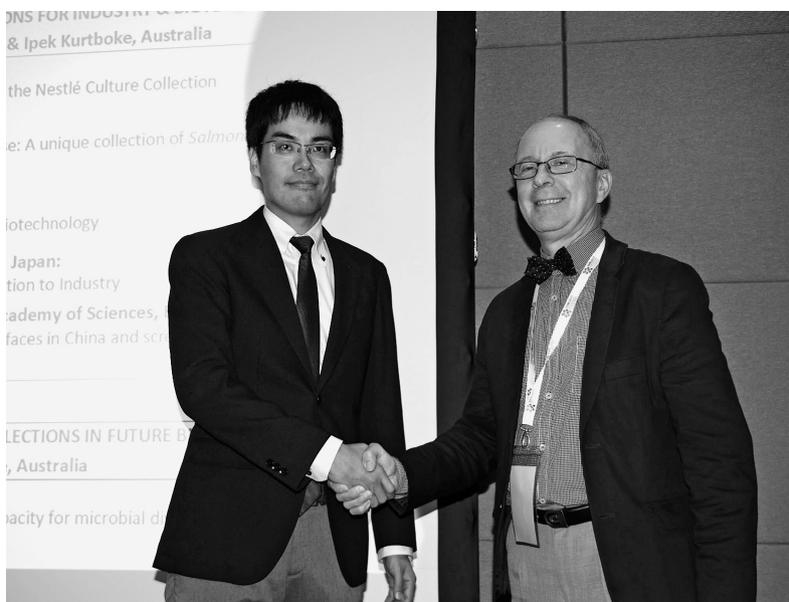


写真2 Skerman 賞を受賞した浜田盛之博士と Desmeth 会長

加, 生物多様性条約への対応で積極的な取り組みを行い, 多くの話題を提供している BRICS 諸国のブラジル, インド, 中国から理事が選出され, 職責で就任した世界データセンター長の馬俊才博士とともに今後 WFCC が微生物学の国際コミュニティカルチャーコレクションのネットワーク構築に貢献することが期待される. 次回の大会 ICC15 は 2020 年 8 月 31 日から 9 月 4 日に南アメリカのチリ, テムコ市のラ フロンテラ大学で開催される予定である.

(鈴木健一朗, 伊藤 隆)